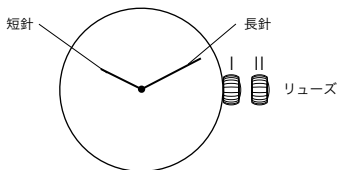


日本語

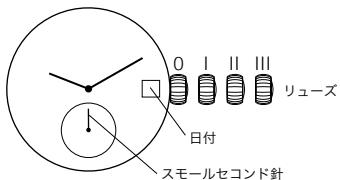
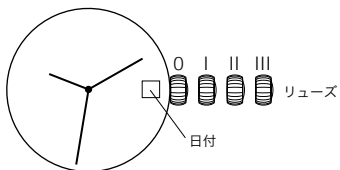
## 2針および3針時計の時間設定機能



### 時間の設定

1. リューズをポジションIIまで引き出します（時計が停止します）。
2. 正しい時刻になるまで（リューズを時計回りに）回します。
3. リューズをポジションIまで押し戻します。

### 3針日付表示ムーブメント / スモールセコンド針



#### 時間の設定

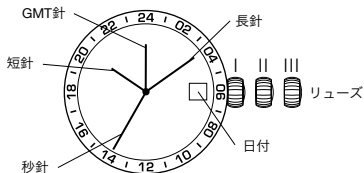
1. リューズがケースにネジ込んでロック（固定）している場合は、ロックをポジションIまで緩めてください。
2. リューズをポジションIIIまで引き出すと、時計は停止します。
3. 正しい時刻になるまで、リューズを時計回り（またはスモールセコンド文字盤の付いたモデルは反時計回り）に回します。
4. リューズをポジションIまで押し戻し、必要である場合は、リューズが止まるまで締めます（ポジション0）。

#### 日付の設定

1. リューズをポジションIまで緩めます。
2. リューズをポジションIIまで引き出します。時計はそのまま動き続けます。
3. 正しい日付になるまでリューズを時計回りに回します。
4. リューズをポジションIまで押し戻し、リューズが止まるまで緩めます（ポジション0）。

午後10時から午前2時の間は、日付を変更しないでください。この時間はムーブメントが自動的に日付を変更しているため、手動で日付変更を行うとムーブメントが故障する原因となります。

# GMTムーブメント



## 時間の設定

1. リューズをポジションIIまで引き出します（時計が停止します）。
2. 正しい時刻になるまでリューズを回します。
3. リューズをポジションIまで押し戻します。

## 日付の設定

1. リューズをポジションIIまで引き出します（時計は停止しません）。
2. 正しい日付になるまでリューズを（時計回りに）回します。
3. リューズをポジションIまで押し戻します。

午後10時から午前2時の間は、日付を変更しないでください。この時間はムーブメントが自動的に日付を変更しているため、手動で日付変更を行うとムーブメントが故障する原因となります。

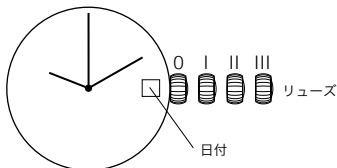
## GMTの設定

1. リューズをポジションIIまで引き出します（時計は停止しません）。
2. 正しいGMT時刻になるまでリューズを（反時計回りに）回します。
3. リューズをポジションIまで押し戻します。

注：GMT針は、24時間枠のミリタリータイムで表示されます。

GMT針はグリニッジ標準時間表示設定または第2タイムゾーンの設定が可能です。

## 自動巻き3針日付表示ムーブメント



### 巻き上げ

1. リユーズがケースにネジ込んでロック（固定）している場合は、ロックをポジションIまで緩めてください。
2. リユーズを時計回りに30回ほど、回します。
3. 必要に応じて、リユーズが止まるまで（ポジション0）、リユーズを回し締めてください。これで時計の主ゼンマイの巻き上げは完了です。時計を腕に付けている場合は腕の自然な動きで自動的に巻き上げられます。この時計はおよそ38時間のパワーリザーブを備えています。

### 時間の設定

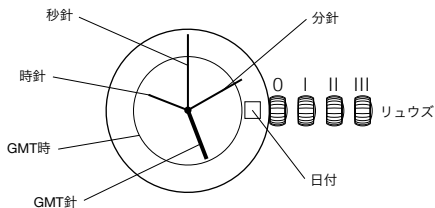
1. リユーズがケースにネジ込んでロック（固定）している場合は、ロックをポジションIまで緩めてください。
2. リユーズをポジションIIまで引き出すと、時計が停止します。
3. 正しい時刻になるまでリユーズを時計回りに回します。
4. リユーズをポジションIまで押し戻し、必要である場合は、リユーズが止まるまで締めます（ポジション0）。

### 日付の設定

1. リユーズがケースにネジ込んでロック（固定）している場合は、ロックをポジションIまで緩めてください。
2. リユーズをポジションIIまで引き出します。時計はそのまま動き続けます。
3. 正しい日付になるまでリユーズを時計回りに回します。
4. リユーズをポジションIまで押し戻し、必要である場合は、リユーズが止まるまで締めます（ポジション0）。

午後10時から午前2時の間は、日付を変更しないでください。この時間はムーブメントが自動的に日付を変更しているため、手動で日付変更を行うとムーブメントが故障する原因となります。

## オートマティックGMTムーブメント



### 巻き上げ

1. リューズをポジションIまで緩めます。
2. リューズをおよそ30回時計回りに回します。
3. リューズが止まるまで締めます (ポジション0)。

これで時計の主ぜんまいの巻き上げは完了です。主ぜんまいは、時計を腕に付けている場合は腕の自然な動きで自動的に巻き上げられます。この時計はおよそ38時間のパワーリザーブを備えています。

### 時刻の設定

1. リューズをポジションIまで緩めます。
2. リューズをポジションIIIまで引き出します。時計が停止します。
3. 正しい時刻になるまでリューズに回します。
4. リューズをポジションIまで押し戻し、リューズが止まるまで締めます (ポジション0)。

### 日付の設定

1. リューズをポジションIまで緩めます。
2. リューズをポジションIIまで引き出します。時計は停止しません。
3. 正しい日付になるまでリューズを反時計回りに回します。
4. リューズをポジションIまで押し戻し、リューズが止まるまで締めます（ポジション0）。

午後10時から午前2時までの間は日付を変更しないでください。この時間はムーブメントが自動的に日付を変更しているため、手動で日付変更を行うとムーブメントが故障する原因となります。

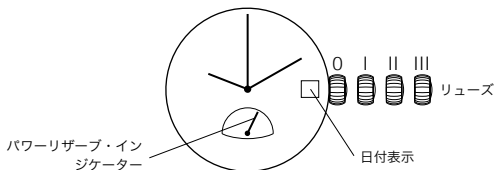
### GMTの設定

1. リューズをIの位置までゆるめます。
2. リューズをIIの位置まで引き出します。時計は動いたままです。
3. 正しいGMT時刻になるまでリューズを時計回りに回します。
4. リューズをポジションIまで押し戻し、リューズが止まるまで締めます（ポジション0）。

**注意：**GMT針の時刻はダイヤルの24時間表示ディスプレイに表示されます。GMT針はグリニッジ標準時またはセカンドタイムゾーンの表示に使用できます。



## 自動巻きパワーリザーブ・ムーブメント



### パワーリザーブ機能

パワーリザーブ・インジケーターは、時計の巻き上げ状態を示すものであり、一目で時計があとどれくらい動作し続けるかわかるようになっています。パワーリザーブ針は、動作可能な残り時間を示しています。この製品には、パワーリザーブ表示機能を備えた自動巻き上げシステムが搭載されています。主ぜんまいは、時計を腕に付けている場合は腕の自然な動きで自動的に巻き上げられます。これによって、パワーリザーブ針は完全に巻き上げた位置（40時間）を示します。腕の揺れを感じると、時計の巻き上げが行われます。時計を身に付けている時間が短い場合は、巻き上げが完全に終わらない場合があります。時計を腕から外した状態で、手動による巻き上げも行わない場合、パワーリザーブ針は時間の経過とともにゼロに近づきます。

### パワーリザーブの巻き上げ

1. リュースをポジションまで緩めます。
2. 6時位置にあるパワーリザーブ針が、数字の40の位置にくるまで、リュースを時計回りに回します。これによって主ぜんまいが巻き上げられ、パワーリザーブは最大値を示します。時計を身に付けているときは、ローターが常時巻き上げを行います。この時計はおよそ40時間のパワーリザーブを備えています。

### 時刻の設定

1. リューズをポジションIまで緩めます。
2. リューズをポジションIIIまで引き出します。時計が停止します。
3. 正しい時刻になるまでリューズを時計回りに回します。
4. リューズをポジションIまで押し戻し、リューズが止まるまで締めます（ポジション0）。

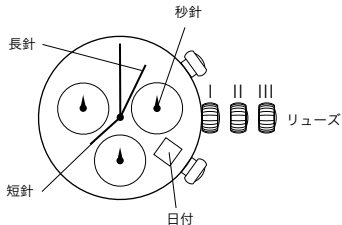
### 日付の設定

1. リューズをポジションIまで緩めます。
2. リューズをポジションIIまで引き出します。時計は停止しません。
3. 正しい日付になるまでリューズを時計回りに回します。
4. リューズをポジションIまで押し戻し、リューズが止まるまで締めます（ポジション0）。

午後10時から午前2時までの間は日付を変更しないでください。この時間はムーブメントが自動的に日付を変更しているため、手動で日付変更を行うとムーブメントが故障する原因となります。

## クロノグラフモデル

5030.D



### 時間の設定

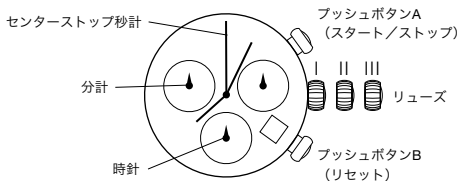
1. リューズをポジションIIIまで引き出します（時計が停止します）。
2. 正しい時刻になるまで（リューズを時計回りに）回します。
3. リューズをポジションIまで押し戻します。

### 日付の設定

1. リューズをポジションIIまで引っ張り出します（時計はそのまま動き続けます）。
2. 前日の日付になるまでリューズを（時計回りに）回します。
3. リューズをポジションIIIまで引き出します（時計が停止します）。
4. 正しい日付になるまでリューズを（時計回りに）回します。
5. 正しい時刻になるまで（リューズを時計回りに）回し続けます。
6. リューズをポジションIまで押し戻します。

## クロノグラフ

- クロノグラフの時間計は、12時間までの時間を計ります。
- 分計は1回転ごとに30分を計ります。
- センターストップ秒計は1回転するごとに60秒を計測します。



### 注：

クロノグラフの機能をご使用になる前に、以下のことを確認してください。

- リューズがポジションにあること。
- 3つのクロノグラフ針がプッシュボタンBの操作後に、確実にポジション0に戻っていること。  
そうでない場合は、針のポジションを調節する必要があります。「クロノグラフ針をポジション0に合わせるには」のセクションをご覧ください。

### クロノグラフ：基本機能（スタート/ストップ/リセット）

1. プッシュボタンAを押してセンターストップ秒計をスタートします。
2. 計測をストップするには、プッシュボタンAを再度押します。
3. プッシュボタンBを押して、3つのクロノグラフ針をポジション0に戻します。

### クロノグラフ：間隔の記録あるいはインターバルカウント

1. プッシュボタンAを押してセンターストップ秒計をスタートします。
2. プッシュボタンBを押して、クロノグラフをストップします。

**注意：**クロノグラフの針が止まっても、クロノグラフは現在の時間を記録し続けます。

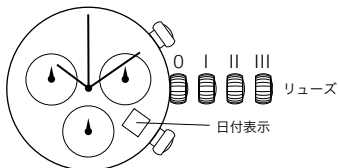
3. 計測時間に追いつくには：プッシュボタンBをもう一度押し、3つのクロノグラフ針を素早く計測中の時刻まで進めます。続けて間隔を記録するには、プッシュボタンBを繰り返し押します。
4. プッシュボタンAを押し、最終時刻を表示させます。
5. プッシュボタンBを押して、3つのクロノグラフ針をポジション0に戻します。

### クロノグラフ針をポジション0に合わせるには

1. リューズをポジションIIIまで引き出します。（3つのクロノグラフ針がポジション0にある場合も、そうでない場合もあります。）
2. プッシュボタンAおよびBを同時に2秒間押し続けます。（ストップセンターセコンドが1回転したら、正しいモードで起動します。）
3. プッシュボタンAを押すと、ストップセンターセコンド針は1目盛ずつ進みます。プッシュボタンAを押したままにすると、ストップセンターセコンド針は早く進みます。プッシュボタンBを押すと、次の針に移ります。
4. プッシュボタンAを押すと、アワーカウンター針は1目盛ずつ進みます。プッシュボタンAを押したままにすると、アワーカウンター針は早く進みます。プッシュボタンBを押すと、次の針に移ります。
5. プッシュボタンAを押すと、ミニッツカウンター針は1目盛ずつ進みます。プッシュボタンAを押したままにすると、ミニッツカウンター針は早く進みます。
6. リューズをポジションIIに戻します。

## クロノグラフ・モデル

5040.D



### 時刻の設定

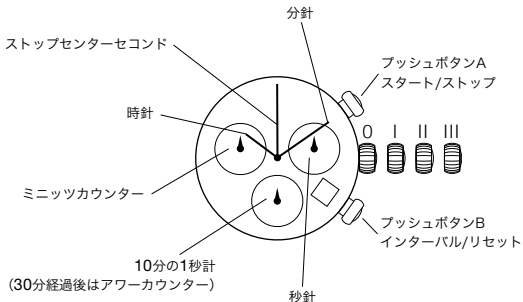
1. リューズをポジションIまで緩めます。
2. リューズをポジションIIIまで引き出します。時計が停止します。
3. 正しい時刻になるまでリューズを時計回りに回します。
4. リューズをポジションIまで押し戻し、リューズが止まるまで締めます（ポジション0）。

### 日付の設定

1. リューズをポジションIまで緩めます。
2. リューズをポジションIIまで引き出します。時計は停止しません。
3. 正しい日付になるまでリューズを時計回りに回します。
4. リューズをポジションIまで押し戻し、リューズが止まるまで締めます（ポジション0）。

## クロノグラフ

- クロノグラフのカウンター（6時位置）は、10分の1秒単位を計測します。  
30分経過後はアワーカウンターとなります。
- クロノグラフのミニツツカウンター（10時位置）は、30分までの時間を計測します。
- ストップセンターセコンドは、1回転ごとに60秒を計測します。



### ご注意:

クロノグラフ機能を使用する前に、以下のことをご確認ください。

- リューズがポジション0にあり、完全に押し込まれた状態であること。
- 3つのクロノグラフ針がプッシュボタンBの操作後に、確実に0位置に戻っていること。  
そうでない場合は、針の位置を調節する必要があります。  
「クロノグラフ針を0位置に合わせるには」のセクションをご覧ください。

### クロノグラフ：基本機能（スタート/ストップ/リセット）

1. プッシュボタンAを押して、ストップセンターセコンド針をスタートさせます。
2. もう一度プッシュボタンAを押して、計時をストップさせます。
3. プッシュボタンBを押して、3つのクロノグラフ針を0位置に戻します。

### クロノグラフ：途中経過または間隔の計時

1. プッシュボタンAを押して、ストップセンターセコンド針をスタートさせます。
2. プッシュボタンBを押して、クロノグラフをストップさせます。

**ご注意:** クロノグラフ針は停止しても、ムーブメントは動き続けています。

3. 計測時間に追いつくには: プッシュボタンBをもう一度押し、3つのクロノグラフ針を素早く計測中の時刻まで進めます。続けて間隔を記録するには、プッシュボタンBを繰り返し押します。
4. プッシュボタンAを押し、最終時刻を表示させます。
5. プッシュボタンBを押して、3つのクロノグラフ針を0位置に戻します。

### クロノグラフ針を0位置に合わせるには

1. リューズをポジションIまで緩めます。
2. リューズをポジションIIIまで引き出し、3つのクロノグラフ針を0位置に合わせます。
3. プッシュボタンAおよびBを同時に2秒間押し続けます。ストップセンターセコンドが1回転したら、正しいモードで起動します。
4. プッシュボタンAを押すと、ストップセンターセコンド針は1目盛ずつ進みます。プッシュボタンAを押したままにすると、ストップセンターセコンド針は素早く進みます。プッシュボタンBを押すと、次の針に移ります。
5. プッシュボタンAを押すと、アワーカウンター針は1目盛ずつ進みます。プッシュボタンAを押したままにすると、アワーカウンター針は素早く進みます。プッシュボタンBを押すと、次の針に移ります。
6. プッシュボタンAを押すと、ミニッツカウンター針は1目盛ずつ進みます。プッシュボタンAを押したままにすると、ミニッツカウンター針は素早く進みます。
7. リューズをポジションIまで戻し、リューズが止まるまで締めます (ポジション0)。

午後10時から午前2時までの間は日付を変更しないでください。この時間はムーブメントが自動的に日付を変更しているため、手動で日付変更を行うとムーブメントが故障する原因となります。



## 防水機能

すべてのパーバリー・時計は、最低でも3気圧 (100ft/30m) 以上の防水機能を備えています。

この防水機能は、ムーブメントをほこり、湿気から保護し、浸水による故障を防ぎます。

防水機能一覧表を参照の上、各モデルの防水レベルをご確認ください。

時計が水に濡れている場合、リューズの調節は避けください。  
水分がケース内に浸入し、故障の原因となります。

ねじ込み式リューズ付きの時計の場合は、水と接触する前に、リューズがしっかりとねじ込み固定されていることを確認してください。

クロノグラフ機能付きの時計の場合、水中ではクロノグラフを操作しないでください。  
水がケース内に侵入して故障の原因となります。

## 防水機能について

耐水性		使用例			
裏面の表示	深度	 手洗い	 シャワー 入浴	 水泳 シュノーケリング	 スクーバダイビング
—	—	X	X	X	X
WR	—	○	X	X	X
3 ATM	3バール 30メートル	○	X	X	X
5 ATM	5バール 50メートル	○	○	X	X
10 ATM	10バール 100メートル	○	○	○	X
20 ATM	20バール 200メートル	○	○	○	○
30 ATM	30バール 300メートル	○	○	○	○
50 ATM	50バール 500メートル	○	○	○	○

**注意事項**

- ・ リュウズは常に通常位置に設定して下さい。
- ・ 上記の表では手洗いが○と記載されている防水性の商品につきましても、蛇口及びシャワーからの水流が直接時計に当たりますと基準以上の水圧がかかる事がありますので、ご注意下さい。
- ・ 上記の表ではシャワーと入浴が○と記載されている防水性の商品につきましても、温水での使用はバックンを変質させ、浸水させる原因になりますので、ご注意下さい。
- ・ クロノグラフ(ストップウォッチ)及びボタン機能付きの時計を水中で使用されますと、浸水することがありますので、水中でのボタン操作はお避けください。
- ・ 10ATM/10バール/100メートルの防水性の商品は水泳時に使用可能ですが、水中で腕を強く振る等すると基準以上の水圧がかかる事がありますので、ご注意下さい。

## お手入れとお取り扱い上の注意

バーバリーの時計はすべて、厳格な基準に従いデザインおよび製造されています。時計は他の機械製品とは違い、休むことなく動き続けます。最善の状態で長くお使いいただくために、お使いのバーバリー腕時計のお取り扱い上の注意点をご確認ください。

### お手入れ

柔らかい布と真水を使用して掃除してください。時計を水の中に浸さないでください。塩水に触れた場合は、時計を水ですすいで、柔らかい布で水分を拭き取ってください。金属バンドのメンテナンスのために、定期的に清掃することをおすすめします。温かい石鹸水に浸けた柔らかいブラシで優しくブレスレットを磨いてください。故障することなく長くお使いいただくために、18-24か月ごとに時計の点検を受けられることをおすすめします。

### お取り扱い上の注意

次のような状況避けるようにしてください。極端に高温または低温となる場所での放置、長時間の直射日光す、防水機能レベルを超える湿潤状況（ケース裏のチャート参照）。水に接触している際は、機能ボタンの使用やリュウズの位置の調節をお控えください。

お使いの時計は、テレビなどの家電製品から発せられる電磁波の影響を受けることはありません。ただし、その他の強力な電磁波や静電気への接触は避けるようにしてください。また、時計は通常使用における衝撃にしか耐えることができないので、強い衝撃を与えないようにしてください。